

平成二十八年十月の作品（十月十四日（金）（第四十四回）

（於 文京シビックセンター 5階D会議室）

朝霧やつかの間見ゆる南部富士（隆治）

長雨や軒端にこぼれ式部の実（孝昭）

「大鵬」の銘の土俵や秋祭（一江）

細き指反らす乙女や風の盆（前歩）

木犀の香に迷ひたる小径かな（貴美）

長雨の去りて浅間の葡萄棚（太郎）

名胡桃の城の空堀秋深し（正雄）

溪川たにかわの千変万化水澄めり（清助）